

喜入地域での 「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

〔開催概要〕

日時:平成24年9月26日(水)19:00~20:00

場所:喜入支所

※平成24年度 第5回目

平成24年10月
鹿児島市 市民協働課

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成24年9月26日(水)19:00~20:00

場所:喜入支所

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
1	中名地域コミュニティ協議会 男性	① 先日、地域コミュニティ協議会の第1号の認定をいただいた。 まずは、3地域で先行的にやっていると伺っているが、今後のコミュニティに対する考え方を聞かせてほしい。 また、市内全域に広がっていくのか。	① お話のありましたように、中名を地域コミュニティ協議会の第1号として認定させていただきましたので、今後、それぞれの地域で協議会を設立する際の模範になっていただけるものと期待しています。 地域コミュニティ協議会が将来的にどのように位置づけられるのかということですが、30年度までに全域に広がっていきます。 今は3か所をモデル地域として取り組んでいただきますが、しっかりと基礎ができましたら全地域に広がっていくのが私共の願いです。	市民局	市長回答のとおり
		② 校区公民館運営審議会は教育委員会の所管だが、将来的に市長部局へ移行されるのか。	② 校区公民館運営審議会は教育委員会の所管ですが、地域コミュニティ協議会が設置されますと、教育委員会はもとより福祉や地域振興などのあらゆる部門が協議会の中に取り込まれていくと考えていますので、教育委員会の所管から離れていくと思います。	市民局	校区公民館運営審議会がこれまで担ってきた地域づくりなどの機能は、モデル地域においては地域コミュニティ協議会に移行するよう考えておりますが、地域の実情・要望等も踏まえ、今後、モデル地域での取り組み状況等を評価・検証したうえで対応してまいります。
		③ (校区)公民館は地域の総合的な結節施設であり、とりわけ社会教育施設としての機能が重視されているが、地域コミュニティ協議会になった場合、社会教育の拠点としての公民館の機能が薄れていくのではないかと心配している。 市長は、どのように考えているか。	③ 校区公民館は、今後は地域コミュニティ協議会の拠点施設となりますので、教育や福祉、安心安全などのあらゆる分野を集約する拠点施設となります。 そのことは、これまでの取組が集約されていくということですので、どの分野が薄れていくとか重点的にということではございません。それぞれの分野を集約したものが地域コミュニティ協議会という位置づけになりますので、中名地域コミュニティ協議会で、これからしっかりと取り組んでいただけたらと思います。 校区公民館運営審議会や安心安全の協議会、福祉の協議会などが一体となった大きな組織としての協議会になりますので、十分お汲み取りいただき、組織を運営していただきたいと思えます。 また、私共としては、これからそういった組織が立ち上がりますので、運営や活動に対する助成をし、支えていければと思います。	市民局	地域コミュニティ協議会は既存の町内会、あいご会、老人クラブ、校区社会福祉協議会といった、それぞれの設置目的に応じた活動を行っている多様な地域コミュニティ組織がその役割と機能を生かしながら連携する組織です。 校区公民館は青少年健全育成や生涯学習といった分野の拠点としての役割だけでなく、今後、地域で策定いただく、地域活性化のための「地域コミュニティプラン」に基づいた活動の拠点となっていくものと考えております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成24年9月26日(水)19:00~20:00

場所:喜入支所

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
2	観光農業公園農産物直売所運営組合 男性	④ 観光農業公園の農産物直売所は、農家や水産業者、加工業者を中心に会員となって、農産物を主とした各種販売を行っている。 会員の拡充に一生懸命取り組んではいるが、なかなか集まらないのが現状なので、市にも協力してほしい。	④ 観光農業公園は、観光や環境の面、地域振興の面でも本市の最も大きな核となる施設になると思います。今後の地域産業の振興にも大きく寄与する施設という位置づけをしていますし、そうなることが本市の発展や地域の発展にも繋がっていくと思います。 そのためにも、直売所が活性化されないと観光農業公園としてのコンセプトが薄れていくと思いますので、お話のあった組合員の確保については、私共もしっかりと広報したり、直接勧誘したり、また農協関係の皆さんと協議をしたり、積極的に行動を起こしていきたいと思います。 直売所に参入していただく人たちを増やすことが、観光農業公園の存立にも関わってきますので、その点は一生懸命努力をしてみたいと思います。 また、色々な面で皆様方からお知恵があったり、工夫されることがあったら、どしどし申し出ていただき、是非、連携をしながら取り組ませていただきたいと思います。	経済局	市長回答のとおり
3	喜ば士隊キイレンダー実行委員会 女性	⑤ 今年の1月に主婦のランチミーティングから盛り上がり、喜入のまちづくりのために頑張っている。春頃には、市長にもお会いした。 今は喜入で活動している「喜ば士隊キイレンダー」だが、鹿児島を代表するキャラクターとして、鹿児島市内で活躍できるような場を設けていただきたい。	⑤ キイレンダーの皆さんには、市長室にお越しいただき、一緒に話をさせていただきました。その誕生の経緯やネーミングから、喜入地域にふさわしいキャラクターだと思っています。 皆さんが活躍することで、喜入地域を含め、鹿児島市全体に“元気”を創出していただけたと思っています。 本市の観光部門などで市域外に行ってプロモーションをする際は、これまで、西郷さんや大久保さん、篤姫などの5人のキャラクターを使っており、定着しています。今は休止していますが、これを今後も続けていきたいと思っておりますので、鹿児島市にも地域でキャラクターを作って頑張っているところがあるということをおPRをする中で、鹿児島市内のイベントにも出ていただきたいと思いますし、市域外で鹿児島市のPRとして活躍していただければと思います。	市民局 経済局	市長回答のとおり
		⑥ 喜入支所や商工会の皆さんにお手伝いいただき、盛り上げていただいているが、資金面で大変苦労しており、ポロシャツなどのグッズを販売して活動資金にしている。コスチュームも傷んできているが、新しく作る資金がない。 市からの助成金やグッズの販売で協力して欲しい。	⑥ キイレンダーの活動に対する市の助成をということですが、市民と行政との協働によるまちづくりを進めるための「市民とつくる協働のまち事業」という助成制度があります。 応募に際して要件がありますが、キイレンダーの活躍やこれまでの経緯からすると、応募には合致をすると思います。今回は11月に募集を行いますので、是非、応募していただければと思います。 グッズ販売については、市自体が販売業には携われませんが、それぞれの施設に民間業者が入っています。そういった販売所の方々を紹介することはできますので、喜入支所にもご相談いただければと思います。	市民局	市長回答のとおり

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成24年9月26日(水)19:00~20:00

場所:喜入支所

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
4	マリンピア喜入「道の駅」フェスタ実行委員会 男性	<p>⑦ マリンピア喜入は健康増進施設として運営してきたが、「道の駅」の第1号にもなっている。他の駅と比較して賑わいがあまりないということで、イベント開催の実行委員会を組織し、昨年11月に第1回マリンピア喜入「道の駅」フェスタを開催した。</p> <p>今年1月からは毎月第3日曜日に、「道の駅喜楽市」を開催し、喜入の農産物や加工品の販売に加え、キイレンダーと連携して頑張っており、10月に第2回フェスタを開催する準備を進めている。</p> <p>その中で、道の駅の活性化及び地域の連携を図るために、八幡温泉保養館内に農産物や加工品等の常設販売所を設置して欲しい。</p>	<p>⑦ 先ほど観光農業公園を視察したあと、道の駅にも行ってまいりました。お話がありましたように、鹿児島市域では第1号の道の駅でありましたし、当初は大変賑わっていたと思います。</p> <p>私も色々な道の駅を見てきた中で、先駆的な施設でありましたが、仰ったように機能的な面でまだまだ拡充しなければならないという思いも持っています。</p> <p>第五次総合計画の中でも、喜入地域の道の駅について検討するようにいたしておりますので、館内に販売所を設ける案や施設の増設など、様々な課題があらうかと思っておりますので、皆さんのご意見を聞きながら、進めていきたいと思っております。</p>	健康福祉局	市長回答のとおり
		<p>⑧ 喜入農業構造改善センターの設備を充実して、地域の生産者と連携して加工品を開発し、道の駅で販売することで地域内外へ広くアピールできないか。</p>	<p>⑧ 喜入農業構造改善センターについては、利用頻度や作業工程での重要度を考慮しながら、設備等は改修・更新していきますし、設備の充実についても、利用状況や必要性を考慮しながら、検討していかなければいけないと思っております。</p> <p>また、そこで出来た商品を道の駅で活用できるかにつきまして、道の駅の施設をどうするかという検討の中で、しっかりとした道筋をつけていければと思います。</p>	健康福祉局 経済局	<p>(健康福祉局) 道の駅で地元の農産・加工品等の販売を行うことは、道の駅本来の機能の一つである地域連携機能の強化にもつながるため、今後検討してまいりたいと考えております。</p> <p>(経済局) 喜入農業構造改善センターの設備の充実については、市長回答のとおり</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成24年9月26日(水)19:00~20:00

場所:喜入支所

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
5	前之浜むらおこし実行委員会 男性	⑨ 前之浜の人口減少に歯止めをかけようと校区公民館運営審議会の中で色々と検討した結果、「むらおこし」をすることに決まった。 自然はたくさんあるので、これを生かした「むらおこし」ができないかと取り組んでおり、市の力添えをお願いしたい。	⑨ 今、少子高齢化や人口減少というのが時代の流れになっており、喜入地域だけでなく、鹿児島市全域で起こっています。そういう中で、私共としては少子化対策や高齢者対策を含めて、地域力をつけていただきたいということで、地域コミュニティ協議会を作っていただくか、市営住宅をその地域に建設するとか、子育て支援の核となる施設を整備するといった取組を、今回の総合計画の中に位置づけています。 観光農業公園についても、このような環境に配慮した観光・交流拠点施設ができることで、喜入地域にたくさんの方々が入ってこられると私は思っています。その中で、素晴らしい自然環境や景観に共感された方々が、是非、定住していただければという願いも持っています。 そういった意味では、それぞれの地域でむらおこしが定着し、お互いに連携・協働することで、その一翼を担っていただけのではないかと期待をしています。 地域の皆さんが一緒になって、地域の色々な行事や取組に参加し、様々な課題を解決して、地域の皆さんが一体となってまちおこしをしていただき、地域力をつけていただきたい。そして、その地域力が鹿児島市全域に広がることによって、鹿児島市全体の力になっていくと考えています。そういった考えのもとで、地域コミュニティ協議会を作ることといたしました。 これからも、より一層地域力を強めていきたいと思ひますし、私共も地域づくりに取り組んでいかなければならないと思ひますので、むらおこしをされていることは、大変心強い取組だと思ひます。	市民局	本市では、平成23年3月に安心して暮らせる安全なまち、誰もが喜びと希望に満ち溢れる地域社会を、市民と行政が一体となって協働して築き上げるために、地域コミュニティの将来像やその実現に向けた取り組みの基本的な方向性を示す指針として、「鹿児島市コミュニティビジョン」を策定いたしました。 その取り組みの一つとして、小学校区を基本に、多様な地域コミュニティ組織がその役割と、機能を生かしながら連携する地域コミュニティ協議会の立ち上げを支援することとしており、現在モデル地域において取り組みを進めていただいております。 この地域コミュニティ協議会においては、地域の課題や資源の抽出・整理などを通じて、活性化のための地域コミュニティプランを策定し、これをもとに、地域が一体となって主体的に取り組めるよう、本市としましても支援してまいりたいと考えております。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成24年9月26日(水)19:00~20:00

場所:喜入支所

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
6	中名地域コミュニティ協議会 男性	⑩ 中名から喜入中学校に通じる愛宕川沿いの市道には歩道が設置されているが、自転車通学をする中学生の安全確保のため、拡幅して歩行者と自転車が併用できるような規格に整備して欲しい。 中学生の通学時間帯は通勤車両の通行が多く、大変危険である。	⑩ お話のあった場所は市道で、歩道はあるが自転車専用道が無いとのことですが、道路拡幅等を含め様々な課題を解決するためには、地権者や警察とも話をしなければなりません。 鹿児島市としては、自転車専用道路の整備を進めていますので、交通安全を確保できるよう地権者や県警とも協議をしながら、拡幅と自転車道の確保について検討させてみたいと思いますが、多くの生徒さんが自転車通学をされているとのことですので、それまでの間は、通学保護員の方々にもお力添えを賜っていかねばならないと思います。	市民局 建設局 教育委員会	<p>(市民局) 本市では、登校児童の保護誘導と通行方法の指導を行うため、小学校長及び小学校PTA会長から推薦された者を児童通学保護員として委嘱し、通学路上の交通量の多い交差点などに設置することで児童の安全確保を図っております。 ご指摘の箇所につきましても、校区において児童通学保護員の設置等について検討いただき、安心安全課ではその結果を受けて必要な対応を行ってまいります。</p> <p>(建設局) 10月10日に所轄の南警察署交通課と協議した結果、現在の歩道幅員は2.0mですが、基準を満たせば自転車の通行も可能であるとのことでした。 その基準は、①道路標識で指定された場所、②運転者が児童、幼児の場合、③車道又は交通の状況から見てやむを得ない場合となっております。 今後の対応として、①については標識が無いこと。②については運転者が中学生であること。③については交通の状況を調査する必要があることから、今後、現状を把握するために交通量調査を実施し、警察と道路管理者とで検討することとしております。</p> <p>(教育委員会) 喜入中学校の自転車通学につきましては、今後も、関係機関や保護者・地域と連携を図り、安全確保に努めてまいりたいと考えております。</p>

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成24年9月26日(水)19:00~20:00

場所:喜入支所

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
7	観光農業公園農産物直売所運営組合 男性	⑩ 観光農業公園の目玉となる施策やプログラムは、どのようなものがあるか。 また、ゼロエミッションという言葉は、なかなか来場者には分かりづらいので、説明を工夫する必要があるのではないか。	⑪ 私はこの観光農業公園を、環境に配慮した、ゼロエミッションという資源循環型の施設にしたいと思っています。 例えば、野菜を作って、材料としてレストランに出し、残菜については豚の餌にし、豚の糞尿は処理をして肥料にするといったように、公園から外には何も出さないというのが、観光農業公園の目的のひとつです。 また、滞在型の農業公園ということで、以前の「喜入の森」にはバンガローがありましたが、今回、整備してきれいになりました。あわせて、最長3年間借りることができる簡易宿泊所を備えた市民農園を20区画、整備しました。 農産物直売館の中には、野菜等を使って調理体験ができるコーナーを設けてありますし、色々なイベントをする際に、作ったものを売ったりできるような広場を設けています。 公園の中で、食べ物から排出したのもまで資源が循環して処理できるというのが大きな“売り”でございます。 もう一つは、この観光農業公園は喜入一倉にあります。指宿に近く、南九州や南さつまにも近いことから、ここを活用して、是非多くの方にこの施設に来ていただいて、ゆっくりと過ごしていただき、遊んだり散策をしたりする施設としてご利用いただければと思います。 また、施設には、「喜入の森」で伐採した木材を使っていますし、環境にやさしい施設として太陽光を使って発電します。 施設の中には、色々と説明板を設置していきたいと思っております。	経済局	市長回答のとおり ※ 太陽光を使った発電については、園内に設置される、太陽光発電量表示用の大型モニター等で説明します。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成24年9月26日(水)19:00~20:00

場所:喜入支所

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	中名地域コミュニティ協議会 男性	⑫ 国道226号の工事が平川の交差点付近でストップしているが、整備を進めてほしい。 市として、国に要望しているのか。	⑫ 国の管轄になりますことから、このことについては、強く要望していますが、恐らく用地交渉の関係で難航しているのではないかと思います。 私共としては、工事を計画通り進めてほしいということは、常にお願ひしています。	建設局	国道226号の整備につきましては、「国道226号整備促進協議会」を通じて要望しているところです。 なお、平川道路は平成25年度の全線供用を目標に工事を進めており、用地交渉は全て終了したところです。
		⑬ 満潮になった時に、瀬々串方面の道路が潮を被ってしまい、うまく通れない場合もある。 市としては、どう考えているか。	⑬ 国道に潮がかかるということですが、迂回路が必要ということだろうと思います。 今は、錦江湾公園入口付近から県道谷山知覧線までの市道(五位野高野線)を新設しています。用地交渉等で少し難航していますが、これが完成しますと国道226号の迂回路として使えるのではないかと思います。	建設局	喜入地域と谷山地域を結ぶ幹線市道の整備については、市道動物園線の錦江湾公園入口付近から県道谷山知覧線までの延長約2.3kmを五位野高野線(仮称)として、本市の幹線道路整備計画に位置付けております。平成21年度から工事着手し、これまで、約725m(23年度末概成延長)の整備を終えたところであります。24年度は、引き続き、約860mの区間の工事を行っているところであり、26年度末の完成を目途に整備に取り組んでいるところであります。
		⑭ 喜入地域の文化祭の実行委員長をしている。 市は体育方面には支援をしていただいているが、文化祭への予算が少ない気がするので、もう少し増やして欲しい。	⑭ それぞれの地域の文化祭に対して、市は(予算を)出していないのではないかと思います。が、第五次総合計画の中で、今後は「文化薫る地域の魅力づくり」に取り組んでいくこととしています。 その中で、地域に伝承している文化・芸術の掘り起しや継承について、しっかりと取組を進めてまいりますので、そのことを踏まえた予算措置というものができれば、やっていきたいと思ひます。	教育委員会	本市では、「文化薫る地域の魅力づくりプラン」に基づき、本年度から5ヶ年にわたって、美術・音楽・地域伝統芸能といった本市ゆかりの文化資源を生かした様々な取組を進めることとしております。 本プランを進める中で、地域の文化祭に対する新たな予算措置は、今のところ特に考えておりませんが、今後、各地域で永年にわたって育まれてきた郷土芸能の保存・伝承に向けた取組などを行い、文化振興を通じた元気な地域づくり・人づくりを進めてまいりたいと思ひます。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成24年9月26日(水)19:00~20:00

場所:喜入支所

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
9	喜ば士隊キイレンダー実行委員会 男性	⑮ キイレンダーは喜入地域の主婦が中心になってここまで頑張ってきたが、まだまだ認知不足だ。市のイベント等に声をかけてもらって、例えば熊本の「くまモン」のように、ゆるキャラとして認知度を高めたい。 薩摩剣士隼人ともタイアップしてやっていければいいと思っている。	⑮ 先日、薩摩剣士隼人が市長室に来られた時に、「キイレンダーと一緒に情報発信していければ」というお話がありました。先ほどもお話しましたが、色々なイベント等については、皆さんにも積極的に参画してほしいと思います。 鹿児島市や県にも色々なキャラクターがあるので、集約した方がいいのか、それぞれの地域でキャラクターを作っていく方がいいのか、検討の余地があると思いますが、薩摩剣士隼人はキイレンダーのことを意識していましたので、責任者にもお話をおきたいと思っています。	市民局	市長回答のとおり
10	中名地域コミュニティ協議会 男性	⑯ 中名校区は準農村地域であり、校区公民館運営審議会の仲間で、高齢者の生きがいがづくりや生産者のために朝市を設置しているが、なかなか運営がうまくいかない。 助成の仕組みがあれば教えてほしい。	⑯ 地域おこしという観点から、先ほどご紹介した「市民とつくる協働のまち事業」で公募をいたします。初期段階枠が経費の2/3から4/5以内で事業費50万円以下、一般枠が経費の1/3から2/3以内で補助限度額100万円となっていますので、是非、応募していただければと思います。 また、この他に支援策がないか、調べてみたいと思います。	市民局 健康福祉局	(市民局) 本市では、市民と行政との協働によるまちづくりを進めるため、営利を目的としない公益的なサービスを提供とするNPOや町内会等の市民活動団体の活動に対し、経費の一部を助成する「市民とつくる協働のまち事業」を実施しております。 補助事業は、公募により募集を行い、選考審査会で審査を行った上で、決定しております。新たに実施する活動やこれまでの活動を拡充する活動が対象であり、団体の運営経費は補助対象とはなりません。来年度の補助事業を11月に募集いたしますので、応募についてご検討いただきたいと思います。 (健康福祉局) 高齢者の生きがいがづくりとして、運営に関しての資金的な支援策はありませんが、例えば、老人クラブ等の団体(老人クラブの会員20名以上、または、会員数の2分の1以上、構成員の3分の2以上が60歳以上の団体)が、外部講師を招き、運営についてのノウハウを学ぶといった教養講座を開催する場合、1団体につき1年に3万円以内の助成を行う「高齢者健康づくり・生きがいがづくり活動支援事業」があります。

「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時:平成24年9月26日(水)19:00~20:00

場所:喜入支所

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
11	前之浜むらおこし実行委員会 男性	⑰ 貝底川は暖竹や雑木が川を塞いでおり、県に一部を取り除いてもらったが、放っておくとすぐ元に戻ってしまう。	⑰ 貝底川については、お話のあったように県の管理です。一部伐開は終了したといわれましたが、また竹や木が堆積して川の機能が損なわれていくのであれば、県にしっかりと要望していきたいと思います。	建設局	貝底川については、二級河川であることから、管理者である県へ寄洲等の除去要望をいたしました。
		⑱ JRについて、喜入駅から先は一日に50本ほど行き来しているが、前之浜や生見は19本から20本だ。せめて、朝の通学時間帯だけでも運行本数を2・3本増やせないかというのが地域の願いだ。今は、保護者が喜入駅まで車で送っている。	⑱ お話のあったことにつきましては、JR九州にお伝えいたします。例えば、喜入駅には「いぶたま」が停まりますが、他の駅にも停めてほしいとお願いしても、「観光電車なので、通勤通学のための列車ではない」ということで停めてもらえません。指宿枕崎線の中では、近くに鹿児島国際大があって乗降客数が多い坂之上駅について要望に行きましたが、だめでした。地域の方々が、こういった利便性について要望しているということは、機会ある毎に話をしていきたいと思います。	企画財政局	指宿枕崎線の輸送力強化につきましては、本市や指宿市、枕崎市、南九州市で構成する指宿枕崎線輸送強化促進期成会等を通じて、これまでもJR九州へ要望してきたところであり、今後も引き続き要望してまいります。